

弟子屈町国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 (令和06年度～令和11年度)概要版

データヘルス計画の概要

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられた。こうした背景を踏まえて策定した第2期データヘルス計画を見直すとともに、第3期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上を図る。

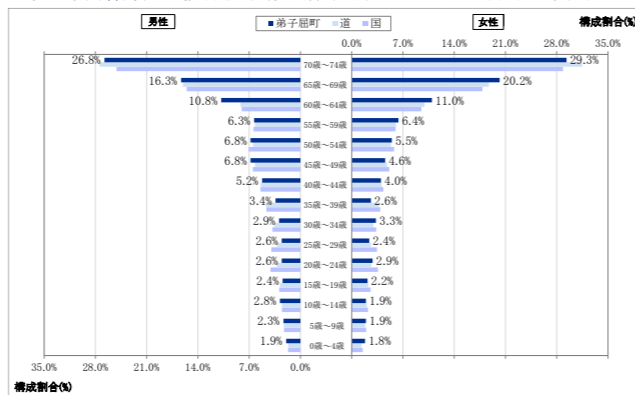
人口構成および被保険者について

国民健康保険被保険者数は1,698人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は24.7%である。国民健康保険被保険者平均年齢は54.9歳で、国53.4歳より1.5歳高く、北海道54.8歳とほぼ水準である。

人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
弟子屈町	6,864	41.6%	1,698	24.7%	54.9	4.4	19.7
道	5,165,554	32.2%	1,029,195	19.9%	54.8	5.7	12.6
同規模	6,774	39.4%	1,780	25.6%	55.7	4.9	17.2
国	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4	6.8	11.1

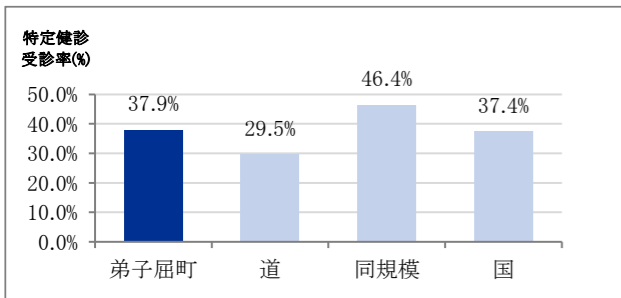
男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



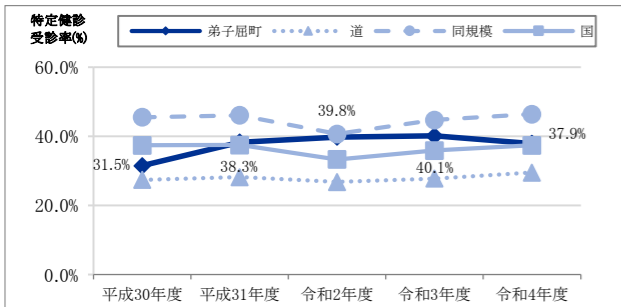
特定健康診査受診率

令和4年度は平成30年度31.5%から上昇しているものの、令和3年度40.1%より2.2ポイント下降している。また、いずれの年度も北海道の受診率を大きく上回っている。

特定健康診査受診率(令和4年度)



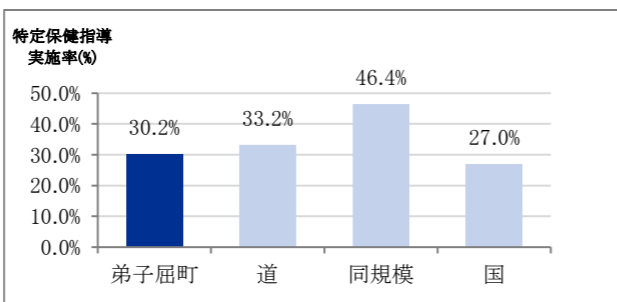
年度別 特定健康診査受診率



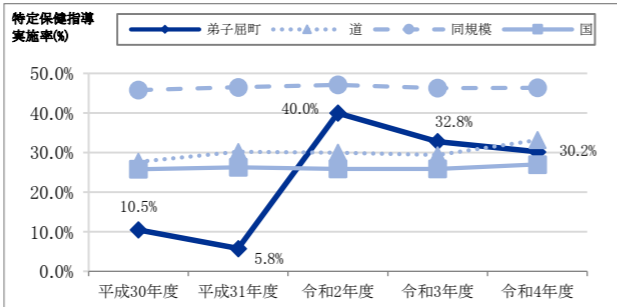
特定保健指導実施率

令和4年度は平成30年度より19.7ポイント増加している。令和2年度に実施率は大きく上昇し、北海道の実施率を上回っている。

特定保健指導実施率(令和4年度)



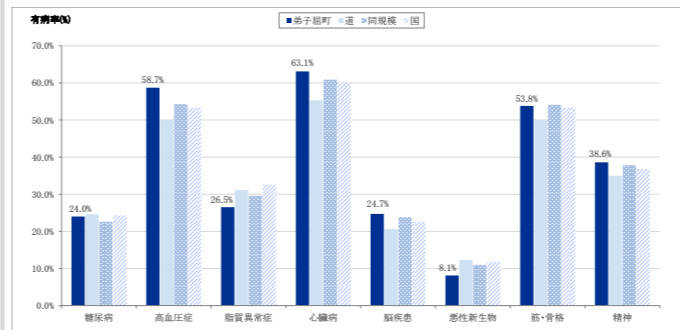
年度別 特定保健指導実施率



介護保険の状況

心臓病63.1%が第1位、高血圧症58.7%が第2位、筋・骨格53.8%が第3位である。上位3疾病は北海道と同一であり、有病率はいずれも北海道より高い。

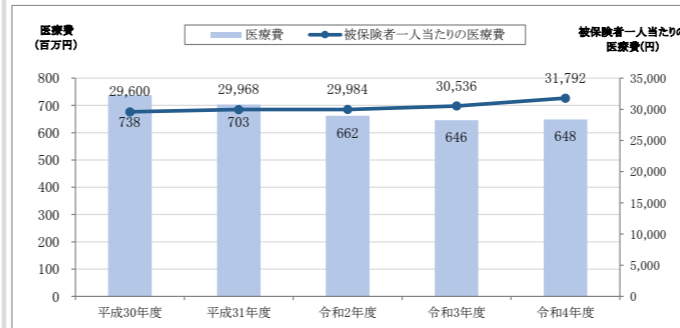
要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



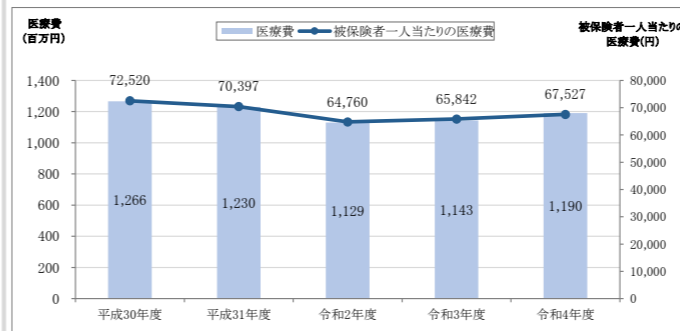
医療費情報の分析

被保険者数が減少する中、国保・後期ともに医療費は減少、被保険者一人当たりの医療費は国保は増加、後期は減少している。

年度別 医療費の状況(国保)



年度別 医療費の状況(後期高齢者)



透析患者の状況

令和4年度における被保険者に占める透析患者の割合は0.35%で北海道より0.12ポイント高い。

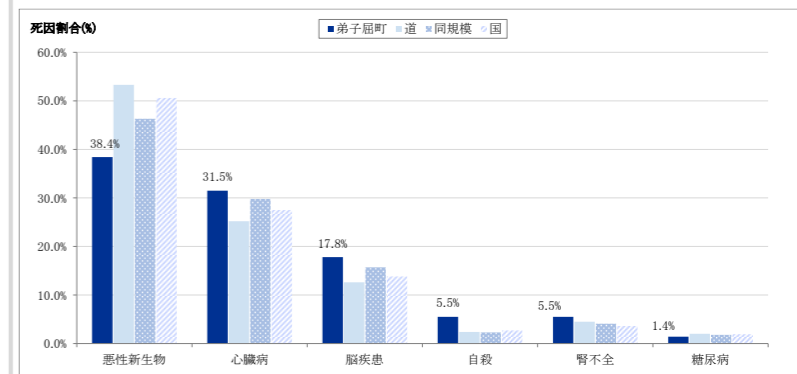
透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合(令和4年度)

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
弟子屈町	1,698	6	0.35%
道	1,029,195	2,325	0.23%
同規模	427,153	1,486	0.35%
国	24,660,500	86,890	0.35%

死亡の状況

主たる死因を北海道と比較すると、心臓病と脳疾患の割合が高くなっており改善すべき課題である。また、悪性新生物の割合は北海道より低くなっている。

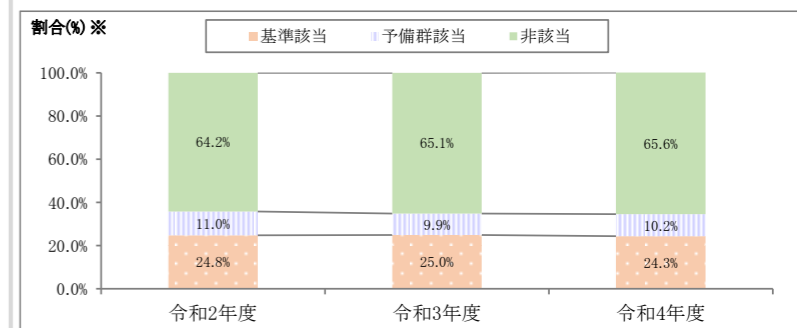
主たる死因の割合(令和4年度)



メタボリックシンドローム該当状況

令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当24.3%は令和2年度24.8%より0.5ポイント減少しており、予備群該当10.2%は令和2年度11.0%より0.8ポイント減少している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



細小分類による医療費上位10疾病

令和4年度における医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は、国保が「関節疾患」で6.0%、後期は「認知症」で6.7%を占めている。

細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%)※	順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%)※
1	関節疾患	38,497,440	6.0%	1	認知症	79,554,870	6.7%
2	糖尿病	36,199,420	5.6%	2	不整脈	61,843,390	5.2%
3	不整脈	34,410,430	5.3%	3	糖尿病	57,181,410	4.8%
4	肺がん	32,517,390	5.0%	4	関節疾患	55,278,040	4.7%
5	大腸がん	26,293,030	4.1%	5	骨粗しょう症	51,815,100	4.4%
6	高血圧症	21,856,450	3.4%	6	高血圧症	44,628,550	3.8%
7	乳がん	18,021,600	2.8%	7	心臓弁膜症	32,568,580	2.7%
8	統合失調症	16,178,970	2.5%	8	骨折	32,320,720	2.7%
9	慢性腎臓病(透析あり)	16,166,700	2.5%	9	慢性腎臓病(透析あり)	32,098,690	2.7%
10	狭心症	15,474,370	2.4%	10	脳梗塞	26,168,410	2.2%

検査項目別有所見者の状況

特定健康診査において、国保は16検査項目中6項目が北海道の有所見者割合より低く、後期は16検査項目中8項目が北海道の有所見者割合より高くなっている。

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)(国保)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸	
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	
弟子屈町	全体	人数(人)	185	177	99	95	18	131	323	28	
	(40歳～74歳)	割合(%)	40.8%	39.1%	21.9%	21.0%	4.0%	28.9%	71.3%	6.2%	
道			割合(%)	30.7%	34.5%	21.0%	15.8%	3.6%	23.4%	52.4%	6.6%
国			割合(%)	26.9%	34.9%	21.1%	14.0%	3.8%	24.9%	58.2%	6.6%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR	
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満	
弟子屈町	全体	人数(人)	180	67	252	10	8	36	0	156	
	(40歳～74歳)	割合(%)	39.7%	14.8%	55.6%	2.2%	1.8%	7.9%	0.0%	34.4%	
道			割合(%)	50.0%	21.5%	50.6%	1.1%	14.8%	20.0%	4.4%	20.9%
国			割合(%)	48.3%	20.8%	50.1%	1.3%	21.4%	18.4%	5.2%	21.8%

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)(後期高齢者)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸	
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	
弟子屈町	全体	人数(人)	86	102	2	4	5	17	40	2	
		割合(%)	35.0%	41.5%	0.8%	1.6%	2.0%	6.9%	16.3%	0.8%	
道			割合(%)	27.4%	16.6%	1.4%	1.6%	1.5%	5.3%	10.8%	1.5%
国			割合(%)	23.7%	13.7%	1.5%	1.5%	1.7%	5.4%	12.2%	1.5%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR	
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満	
弟子屈町	全体	人数(人)	69	7	50	7	0	0	28	41	
		割合(%)	28.0%	2.8%	20.3%	2.8%	0.0%	0.0%	11.4%	16.7%	
道			割合(%)	36.9%	7.5%	17.9%	3.6%	19.4%	8.2%	1.5%	10.0%
国			割合(%)	34.1%	6.6%	16.9%	4.4%	30.3%	9.8%	1.3%	11.4%

第3期データヘルス計画の全体の目的・目標

健康課題	データヘルス計画全体における目的
生活習慣病 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。 ・医療費及び患者数上位において、生活習慣に関係する疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。	生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。
医療費、受診行動 ・後発医薬品の使用割合は88.6%である。 ・受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。 ・薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される長期多剤服薬者が存在する。	医療費適正化と適正受診・適正服薬 後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。
介護、高齢者支援 ・要介護(支援)認定者の医療費は非認定者と比較して高い傾向にあり、医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ対象者が多い。	健康寿命延伸と高齢者支援の充実 医療・介護データの連携を進め、フレイル予防、介護予防を行う。地域で一体となって高齢者の医療・介護・暮らしを支援する体制づくりに努める。

事業名称	事業概要
特定健康診査受診勧奨事業	過年度における特定健康診査の受診情報等を分析し、セグメント分けした対象者群に効果的な受診勧奨を実施する。受診勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
特定保健指導事業	特定健康診査の結果、保健指導判定値以上と判定された対象者に、結果通知のタイミングで効果的な利用勧奨を実施する。利用勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
糖尿病性腎症重症化予防事業	レセプトによる医療機関受診状況や特定健康診査の結果から、人工透析への移行リスクが高い者を抽出し、保健師・看護師等専門職による保健指導を実施する。
ジェネリック医薬品差額通知事業	現在服用している先発医薬品から後発医薬品に切り替えることで、一定額以上の自己負担額の軽減が見込まれる被保険者に対し、自己負担額の差額等を通知する。
受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について指導を実施する。
服薬情報通知事業	多くの種類の薬剤を長期で服用している者に対し、適切な服薬を促すことを目的とした通知書を発送し保健指導を実施する。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	フレイル対策が必要と思われる高齢者を対象に、専門職による運動指導や保健指導が盛り込まれたプログラムを実施する。

目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度(国基準)
特定健康診査受診率(%)	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%	48.0%	50.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	40.0%	44.0%	48.0%	52.0%	56.0%	60.0%	60.0%
特定保健指導対象者の減少率(%)※	19.0%	19.0%	21.0%	21.0%	23.0%	25.0%	25.0%

質問票調査の状況

国保では、11分類中9分類において、課題となる項目の割合が北海道より高いことに注意が必要である。後期では、多くの項目で本町は良い回答となっている中、「服薬」、「健康状態」の質問項目「あまりよくない」「よくない」、「心の健康状態」の質問項目「やや不満」「不満」の割合が北海道よりも高く、「社会参加」質問項目「週に1回以上は外出」と分類「ソーシャルサポート」の割合が北海道よりも低いことに注意が必要である。

質問票調査の状況(令和4年度)(国保)

分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		弟子屈町	道	同規模	国
服薬	服薬_糖尿病	15.9%	9.0%	10.6%	8.9%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	38.5%	35.5%	35.9%	34.6%
運動	1日1時間以上運動なし	56.2%	46.9%	47.0%	47.5%
食事	週3回以上就寝前夕食	20.7%	14.3%	16.4%	14.7%
飲酒	毎日飲酒	21.9%	22.0%	26.4%	24.6%
	1日飲酒量(1合未満)	72.5%	59.6%	59.9%	65.6%
睡眠	睡眠不足	26.2%	21.9%	24.2%	24.9%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	38.9%	26.3%	32.8%	27.5%
	改善意欲あらかつ始めている	25.4%	14.6%	12.1%	14.0%
	保健指導利用しない	63.0%	64.5%	63.4%	62.7%
咀嚼	咀嚼かみにくい	26.6%	20.3%	22.4%	20.2%
間食	3食以外間食_毎日	21.2%	21.5%	21.6%	21.7%

質問票調査の状況(令和4年度)(後期高齢者)

分類	質問項目	全体			
		弟子屈町	道	同規模	国
服薬	服薬状況_高血圧	72.4%	62.2%	66.1%	63.9%
	服薬状況_糖尿病	15.0%	12.6%	15.2%	14.7%
	服薬状況_脂質異常症	48.4%	42.2%	41.6%	44.3%
	服薬状況_睡眠薬	30.5%	29.5%	25.2%	25.7%
健康状態	あまりよくない	10.2%	8.1%	9.8%	8.9%
	よくない	2.0%	0.8%	1.3%	1.1%
心の健康状態	やや不満	8.5%	6.4%	7.1%	7.7%
	不満	1.6%	0.9%	1.1%	1.1%
運動転倒	ウォーキング等の運動を週に1回以上	55.7%	61.5%	54.4%	62.8%
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	11.8%	16.0%	16.1%	16.3%
社会参加	週に1回以上は外出	86.2%	89.7%	88.0%	90.5%
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	93.1%	94.1%	94.9%	95.1%